

平成28年7月12日（火）

県政 F ネット

感染症の予防のための 情報提供について

連絡先	
三重県健康福祉部 感染症対策班	薬務感染症対策課 担当：松本・平岡 電話：059-224-2352

病名	腸管出血性大腸菌（O157）感染症		
年齢及び性別	1歳・男性	職業	無
住所	鈴鹿市		
発病年月日	平成28年 7月 5日		
診断年月日	平成28年 7月 9日		

（患者発生の経過）
 7月 5日 軟便（5回／日）、倦怠感の症状がみられた。
 7月 6日 軟便（4回／日）、倦怠感、発熱（38.4℃）の症状がみられたので、鈴鹿市内の診療所を受診。
 7月 8日 水様便（4回／日）、発熱（40.0℃）の症状がみられた。
 7月 9日 7月6日の便検査の結果から、腸管出血性大腸菌（O157）感染症と診断された。
 7月12日現在、患者に症状はありません。

【防疫措置】 家族・接触者の健康状況調査及び検便の実施（鈴鹿保健所）

【県内での腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】（四日市市保健所分を含む）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
患者	50	44	39	27	9
保菌者	24	18	19	10	5
計（感染者）	74	62	58	37	14

※平成28年1月1日～平成28年7月12日現在まで本件含む

平成28年内訳 患者：O157（5人）：O26（4人）

保菌者：O157（1人）：O26（4人）

【自分でできる対策】

1 予防の3原則

① 加熱（菌を殺す）

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。

肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。

ひき肉は、十分に加熱をしましょう。

焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。

井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

② 迅速・冷却（菌を増やさない）

調理した食品はすぐに食べましょう。

冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫（10℃以下）や冷凍庫（-15℃以下）に入れましょう。

③ 清潔（菌をつけない）

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。